

データ科学

情報融合

心理・行動・生体

シンポジウム

日時
場所

11月21日(土)

13:00-17:00 ※事前申込は不要です。

同志社大学今出川キャンパス
良心館1階 RY103教室

入場
無料

● 基調講演



西里 静彦 (トロント大学 名誉教授)

演題

「データ解析: 温故知新、幾つかの思い」

(Data Analysis: Reminiscences
and Hope for the Future)

● パネルディスカッション

「心理・行動・生体情報を融合したデータ科学の方向性」

モデレーター: 八木 匡 (同志社大学経済学部 教授)

パネリスト: 岩本 嘉子 (ソフトバンク株式会社オンラインセールス企画部 課長)
(五十音順) 大平 英樹 (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)

鈴木 督久 (株式会社日経リサーチ取締役)

照井 伸彦 (東北大学大学院経済学研究科 教授)

星野 崇宏 (慶應義塾大学経済学部 教授)

● 主催

同志社大学創造経済研究センター

同志社大学ハリス理化学研究所

同志社大学モビリティ研究センター

● 後援

応用統計学会

日本行動計量学会

日本計算機統計学会

日本心理学会

日本統計学会

日本分類学会



お問い合わせ先

同志社大学創造経済研究センター事務局

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL: 075-251-3728 FAX: 075-251-3727

✉ e-mail: rc-csce@mail.doshisha.ac.jp

シンポジウム趣旨

本シンポジウムでは、人間の心理、行動、生体に関するデータの利活用について、それぞれの分野の専門家により話題提供をしていただき、それらのデータを融合することによる新たな知識発見、ビジネス利用の可能性について議論する。

基調講演では、トロント大学名誉教授西里静彦氏から心理学の分野で発展してきたデータ解析について、最新の知見を交えて講演していただく。

その後、パネルディスカッションにおいては、経済、心理、行動、脳、ビジネスの分野でデータ解析の研究・開発に携わる学界、ビジネス界のフロントランナーによる討論を行う。

プログラム 総合司会：榎木良子

開会挨拶 村田晃嗣（同志社大学 学長／法学部教授）

第一部 基調講演 「データ解析：温故知新、幾つかの思い」
(Data Analysis: Reminiscences and Hope for the Future)
西里静彦（トロント大学名誉教授）

国際計量心理学会は今年80周年を迎えた。私が一生をささげてきた学会で、この15年に予期しない大きな変化が見られた。中国勢の強力な台頭と関心事の大きな移行である。「負けてはならない」という意気込みは身の内に収め、実行は次の世代に託したい。ここでは、その努力に役立てばという老婆心から、幾つかの私心を述べる。データ解析を伝統的な計量心理学の観点、或は、心理学の基本的存在理由の観点から見ると、浮上する諸問題が見えてくる。この講演では、多くの回顧を交え、変わりゆく学界を背後に、データ解析の戦略に関し私の目から見た幾つかの功罪を取り上げたい。解析の対象となるデータの数的性質の問題、線型非線型解析の立場と実行データ解析に蔓延している最小二乗法的非対称解析と数量化に見られる対称的解析の根本的違いの理解、主成分選択の問題、グラフ法とクラスター解析選択の根本的問題など。これらの問題を簡単な例を用いて誰にでも分かるように検討し、自分の立場を主張したい。データ解析の現場に見られる諸問題の対処に、いくらかでも役に立てば何よりである。

第二部 パネルディスカッション「心理・行動・生体情報を融合したデータ科学の方向性」

モデレーター：八木 匡（同志社大学経済学部 教授）

パネリスト：岩本 嘉子（ソフトバンク株式会社オンラインセールス企画部 課長）
(五十音順)

大平 英樹（名古屋大学大学院環境学研究科 教授）

鈴木 督久（株式会社日経リサーチ 取締役）

照井 伸彦（東北大学大学院経済学研究科 教授）

星野 崇宏（慶應義塾大学経済学部 教授）

閉会挨拶 宿久 洋（同志社大学文化情報学部 教授）

実行委員会

宿久 洋（同志社大学文化情報学部 教授） 実行委員長

八木 匡（同志社大学経済学部 教授） 副実行委員長

照井 伸彦（東北大学経済学研究科 教授）

星野 崇宏（慶應義塾大学経済学部 教授）

佐々木 一郎（同志社大学商学部 准教授）

余語 真夫（同志社大学心理学部 教授） 事務局長

同志社大学創造経済研究センター事務局